		履修形態	全員履修 (3・4修制)			
		履修単位	2 単位			
科目目標		教科書	なし			
中学数学の復習を通して、数学Iの内容にスムーズに入れるようにする。		副教材等	高数へのカウントダウンベー シック (実教出版)			
		履修条件	特になし			
学習内容						
①正の数・負の数の加減乗除 ②分数の加減乗除 ③指数の計算 ④整式の計算 ⑤因数分解 ⑥平方根の計算 ⑦1次方程式・連立方程式 ⑧2次方程式 ⑨三角形を中心とした図形の問題 ※実用数学技能検定「数検3級」に準じた内容の学習をします。						
評価方法	定期考査、出席状況、授業態度、提出物等を総合的に判断し評価する。					
学習上の留意点 授業を聞き、ノートをとる。そして必ず自分で問題を解いてみる事。						

評価方法		評価方法	定期考査、出席状況、授業態度、提出物等を総合的に判断し評価する。			
学習上の留意点			授業を聞き、ノートをとる。そして必ず自分で問題を解いてみる事。			
		授業計画(学習の	内容・学習活動・ねらい及び評価のポイン 	F)		
期	月	学習内容 (単元名)	学習のねらい・目標			
	4	正の数・負の数の加減・乗除 分数の加減・乗除 文字式の計算	・計算力を高める。			
前	5	整式の計算 単項式の乗除 多項式の計算(式の展開) 因数分解	・指数法則を理解し単項式の乗除が出来るようにする。 ・展開の公式を暗記し、式の展開が出来るようにする。 ・因数分解の公式を暗記し、因数分解をする。			
期	6	平方根とその計算 1次方程式とその解き方 連立方程式とその解き方 2次方程式とその解き方	 ・平方根の計算ができるようになる。 ・1次方程式を解けるようにする。 ・連立方程式を解けるようにする。 ・因数分解を利用して、2次方程式が解けるようにする。 ※解の公式による解き方も練習する。 			
	7 9	三角形	・三平方の定理を理解する。 ・三平方の定理を利用し、図形の辺の長さを求める。			
学習評価の観点別規準と評価方法						
評価の)観点	知識及び技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む 態度		
評価基準		数と式、三角形についての基本 的な概念や原理・法則を体系的に 理解するとともに,数学的に表 現・処理したりできる。	数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したり、適切な解法を選択することができる。	数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとしたり、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりできる。		
評価方法		学習状況の観察 ワークノートの記述 定期考査の結果	学習状況の観察 ワークノートの記述 定期考査の結果	学習状況の観察 ワークノートの記述 定期考査の結果		
学習十ポート						

学習サポート

高校で数学を学ぶ上で必要な知識を中学校での数学の復習を通して身につけます。 主に計算力を高めることを目的としていますので、授業時間には各自の演習時間を作ります。また、その時間を利用して必ず自分で 問題を解いてもらいます。